

令和8年度 事業計画書

自：令和8年4月1日 至：令和9年3月31日

I 公益目的事業

公益目的事業 日本の精神文化・伝統芸術である詩歌吟詠を普及振興・継承する事業
日本の精神文化である詩歌吟詠を受け継ぐ人材の育成・自主公演・一般国民への普及啓発活動を行う。

1 普及啓発吟詠発表会（普及啓発吟詠活動）

(1) 普及吟詠発表会

「普及吟詠発表会」を地区又は団体において開催、これを支援する。

2 少年少女吟詠大会（青少年吟詠大会）・青壮年吟詠研修交流会・尚歯会吟詠大会（高齢者吟詠大会）

(1) 少年少女吟詠大会（青少年吟詠大会）

「少年少女吟詠大会」を中学生以下の者を対象に、各地域主体で開催、これを支援する。

(2) 青壮年吟詠研修交流会

青壮年吟詠研修交流会は、本年度は休止する。

(3) 尚歯会吟詠大会（高齢者吟詠大会）

「尚歯会吟詠大会」を70歳以上の者を対象に、地区または団体において開催、これを支援する。

3 詩吟の指導者・継承者育成事業（師範位を認定する審査・研修事業）

(1) 準師範の資格取得を希望する者に対する審査・研修事業

認可団体及び認承団体の資格審査申請等に基づき認定する。審査料は実費程度。

(2) 師範の資格取得を希望する者に対する審査・研修事業

認可団体及び認承団体の推薦により、全国から受審者を募集して、「師範審査会」を以下の会場で開催し、資格審査合格者を認定する。審査料5,500円、受審見込み90名、会場費約70,000円。

① 札幌会場：令和8年8月21日（金）北海道立道民活動センター かでの2・7

② 東京第一会場：令和8年10月3日（土）吟道会館

③ 大阪会場：令和8年11月19日（木）ホテルアウィーナ大阪

④ 東京第二会場：令和9年2月6日（土）吟道会館

(3) 正師範の資格取得を希望する者に対する審査・研修事業

認可団体及び認承団体の推薦により、全国から受審者を募集して、「正師範審査会」を令和8年9月5日（土）吟道会館（東京）で開催し、資格審査合格者を認定する。審査料11,000円、受審見込み35名。

(4) 上席師範の資格取得を希望する者に対する審査・研修事業

認可団体及び認承団体の推薦により、全国から受審者を募集して、「上席師範審査会」を令和8年6月29日（月）吟道会館（東京）で開催し、資格審査合格者を認定する。審査料40,000円、受審見込み10名。

4 吟詠教本の作成頒布

吟詠教本・教材シリーズの作成頒布

詩吟の教材である吟詠教本は、漢詩や和歌等の詩歌に詩吟独自の吟詠法の節韻の吟符を記したもので、あわせて詩文、作者等の各種解説を加え、独自に作成、漢詩、和歌等の専門家の協力を得て作成、会員及び会員以外の一般の希望者に頒布する。

*頒布する吟詠教本

『吟詠教本 漢詩篇（一）～（三）』、『普及版吟詠教本 漢詩篇（一）～（三）』、『吟詠教本 和歌篇（上）（下）』、『吟詠教本 俳句・俳文・俳諧紀行文・俳諧歌・近代詩篇』、『吟詠教本 律詩・古体詩篇（上）（下）』、『吟詠教材シリーズⅠ 俳諧歌撰』、『吟詠教材シリーズⅡ 御製歌・今様・俳諧紀行文・近現代詩・慶弔詩歌篇』、『新装新版愛吟集』。

5 機関誌『吟道』の発行

機関誌『吟道』に事業計画及び収支予算書、事業報告及び決算報告書、主たる行事の紹介、吟道の指導及び詩歌吟詠に関すること、団体の活動状況、詩歌関連の投稿、少年少女会員の投稿その他を掲載し、年12回毎月35,800部（印刷費22,384,000円）発行して会員と関係団体及び国立国会図書館並びに希望者に無料で配付する。

6 全国吟道講座・地区吟道講座・特別講座・木村岳風記念館吟詠講座

(1) 全国吟道講座

「第71回夏季吟道大学講座」を令和8年7月11日（土）～12日（日）ニッショーホール（東京）において、高度な詩吟の吟じ方及び詩歌の鑑賞について、専門的知識・技能を研修し、詩吟の普及向上と後継者の育成を目的に開催する。総本部講師5名、外部講師2名。約850名受講予定。受講料は8,800円、CD付き教材テキストを当日配布。会場費1,400,000円。

(2) 地区吟道講座

「地区吟道講座」を全国10地区の11会場で、全国吟道講座と同様に詩吟の普及向上と後継者育成を目的に開催、総本部講師3名で実施する。各会場平均約500名予定。受講料は4,400円、CD付教材テキストを当日配布する。会場費は各地区平均255,000円。

- ① 令和8年 9月25日（金） 札幌会場（北海道地区） 共済ホール（北海道）
- ② 令和8年 9月27日（日） 高岡会場（北陸地区） 富山県高岡文化ホール（富山）
- ③ 令和8年10月17日（土） 福島会場（東北地区） とうほう・みんなの文化センター（福島）
- ④ 令和8年11月 8日（日） 津島会場（中部地区） 津島市文化会館（愛知）
- ⑤ 令和8年11月11日（水） 茅野会場（長野地区） 茅野市民館コンサートホール（長野）
- ⑥ 令和8年11月22日（日） 山口会場（中国四国地区） 山口県教育会館（山口）
- ⑦ 令和8年12月 5日（土） 神戸会場（近畿地区） 神戸市立垂水区文化センターレバンテホール（兵庫）
- ⑧ 令和9年 1月27日（水） 船堀会場（関東地区） タワーホール船堀 大ホール（東京）
- ⑨ 令和9年 1月31日（日） 日向会場（九州地区） 日向市中央公民館（宮崎）
- ⑩ 令和9年 2月13日（土） 小田原会場（神静地区） 小田原三の丸ホール（神奈川）
- ⑪ 令和9年 2月23日（祝） 須恵会場（九州地区） アザレアホール須恵（福岡）

(3) 特別講座

漢詩、和歌、近代詩、俳句、俳諧歌等特別なテーマについて、その歴史、鑑賞そして吟詠の方法を研修、詩吟の普及向上を目的として開催する。

- ① 「吟道会館特別講座」は、本年度は休止する。
- ② 「日本詩吟学院公開講座」を吟道会館（東京）において原則として毎月1回開催し、定期的な詩歌吟詠の技術の向上と不特定多数の普及、講師育成を目的とする。講師は総本部講師2名。受講料は2,200円、教材テキストは当日配布。各回受講見込み100名。
- ③ 「吟道修学院」は、本年度は休止する。

(4) 木村岳風記念館吟詠講座

「木村岳風記念館特別講座」は、本年度は休止する。

7 中国移動教室・国内移動教室

(1) 中国移動教室

「中国移動教室」は、本年度は休止する。

(2) 国内移動教室

「国内移動教室」は、本年度は休止する。

8 地区吟詠大会・地区師範吟詠大会

(1) 地区吟詠大会

「地区吟詠大会」を10地区10会場で開催し、独吟漢詩の部、独吟和歌の部、連吟（3名1組）の部及び合吟（7名1組）の部の4部門において、「全国吟道大会」及び「全国優秀吟者吟道大会」の地区予選を行う。原則、各地区の運営とし、その活動を支援する。

- ① 令和8年4月17日（金） 神静地区 小田原三の丸ホール（神奈川）
- ② 令和8年4月29日（祝） 北陸地区 新川文化ホール ミラージュホール（富山）
- ③ 令和8年5月10日（日） 北海道地区 かでるホール（北海道）
- ④ 令和8年5月16日（土） 関東地区 千葉市民会館（千葉）
- ⑤ 令和8年5月17日（日） 中部地区 津島市文化会館（愛知）
- ⑥ 令和8年5月17日（日） 中国四国地区 早島町町民総合会館 ゆるびの舎（岡山）
- ⑦ 令和8年5月19日（火） 東北地区 日立システムズホール仙台（宮城）
- ⑧ 令和8年5月23日（土） 長野地区 松本市音楽文化ホール（長野）
- ⑨ 令和8年5月23日（土） 近畿地区 高槻城公園芸術文化劇場北館中ホール（大阪）
- ⑩ 令和8年5月24日（日） 九州地区 アルカス SASEBO 中ホール（長崎）

この吟詠大会に出吟した独吟の特に優秀な者は、全国優秀吟者吟道大会に出吟が推薦され、連吟、合吟の特に優秀な吟者及び団体は全国吟道大会の出吟に推薦される。各部門とも総本部審査委員会より委嘱された審査委員7名により審査され推薦される。

(2) 地区師範吟詠大会

「地区師範吟詠大会」を各地区で開催、これを支援する。

- ① 令和8年5月17日（日）神静地区 小田原三の丸ホール（神奈川）

※上記以外の地区の日程・会場は未定

9 全国吟道大会、全国優秀吟者吟道大会、全国認可団体代表吟道大会

(1) 全国吟道大会

漢詩、和歌、俳句、俳諧歌の独吟、連吟及び合吟等の演目で、会場を借り上げて実施する。吟詠の鑑賞を目的とし、鑑賞者を対象とする。

① 全国吟道大会

「公益社団法人化15周年 創立90周年記念 第136回全国吟道大会」を令和8年10月11日（日）ソニックシティ大ホール（埼玉・大宮）において開催し、全国10地区の予選通過者及び団体による連吟の部と合吟の部の競吟他を行う。併せて、大会終了後、記念祝賀会をパレスホテル大宮（埼玉・大宮）で開催する。出吟料6,000円、入場料6,000円、出吟・入場見込み計2,418名。会場費6,000,000円。

祝賀会は参加費20,000円、300名参加予定。

② 全国俳句俳諧歌吟詠大会

「第3回全国俳句俳諧歌吟詠大会」を令和9年3月7日（日）日経ホール（東京）において開催し、総伝位の会員にも活躍の場を広げ、会場の投票からなる「特別賞」を設け、俳句・俳諧歌の更なる普及を図る。出吟料5,000円、入場料5,000円、出吟・入場見込み計540名。会場費800,000円。

(2) 全国優秀吟者吟道大会

「第32回全国優秀吟者吟道大会」を令和8年9月12日（土）ニッショーホール（東京）において開催し、全国10地区の予選通過者による独吟漢詩の部及び和歌の部の競吟を行う。出吟料10,000円、入場料5,000円、出吟見込み122名・入場見込み768名。会場費1,350,000円。

- (3) 全国認可団体代表吟道大会（全国特別維持会員吟道大会）
「第5回全国特別維持会員吟道大会」は、本年度は休止する。

10 木村岳風記念館・木村岳風墓所の一般公開

この法人（昭和11年創立）の創設者である祖宗範木村岳風の家を保存、管理し、遺品を中心とした歴史資料を展示する木村岳風記念館及び木村岳風墓所を一般に公開する。入館料は無料。

11 その他公益目的事業達成の為の事業

- (1) 資格審査及び段伝位等の審査を行う。
- (2) 定時社員総会
「第17回定時社員総会」を令和8年6月20日（土）吟道会館（東京）において開催し、令和7年度の決算報告、役員改選等を議案とし、146団体（社員）を対象として開催する。
- (3) 認可団体等連絡会議
「令和8年度認可団体等連絡会議」を全国10地区で開催し、総本部役員と地区担当理事及び当該地区の団体代表者等が参加し、意見交換を行う。
- ① 令和8年 8月20日（木）北海道地区 北海道立道民活動センターかでの2・7（北海道）
 - ② 令和8年 8月27日（木）長野地区 木村岳風記念館（長野）
 - ③ 令和8年 9月1日（火）東北地区 岩手教育会館（岩手）
 - ④ 令和8年 9月2日（水）関東地区 吟道会館（東京）
 - ⑤ 令和8年 9月3日（木）神静地区 吟道会館（東京）
 - ⑥ 令和8年 9月25日（金）北陸地区 高岡市生涯学習センター（富山）
 - ⑦ 令和8年11月7日（土）中部地区 甚目寺産業会館（愛知）
 - ⑧ 令和8年11月17日（火）九州地区 エイムアテイン博多駅前（福岡）
 - ⑨ 令和8年11月18日（水）中国四国地区 岡山国際交流センター（岡山）
 - ⑩ 令和8年11月20日（金）近畿地区 ホテルアウリーナ大阪（大阪）
- (4) 役員合同会議
「令和8年度役員合同会議」を令和9年3月6日（土）吟道会館（東京）において、総本部役員、最高顧問、特別顧問、相談役及び参与を対象として、令和9年度事業計画等をテーマに開催、意見交換をはかる。
- (5) 研修会
「参事・地区幹事研修会」を常任参事・参事・地区幹事を対象とし、吟道会館（東京）その他で開催する。
- (6) 認可団体新設認可
認可団体設立の申請に基づき、詩歌吟詠の愛好者団体を認可団体として認可する。
- (7) 認承団体新設認承
認承団体設立の申請に基づき、詩歌吟詠の愛好者団体を認承団体として認承する。
- (8) ホームページの活用
- ① 広報活動と情報公開の一環として、学院の紹介及び活動状況の報告並びに大会等事業の募集案内等を掲載する。
 - ② 吟詠を学びたい不特定多数の者に対し、当学院の認可団体及び認承団体の教室を紹介する。
 - ③ 機関誌『吟道』の「巻頭詩」等を、毎月更新、吟詠を視聴できるコーナーを設ける。
- (9) 渉外活動
官公庁・報道機関その他関係機関との情報交換及び文化団体との交流を図る。
- (10) 教本等に関する質問への回答
教本等に関する質問は、詩吟の専門家が無料で対応する。
教本の内容等に関する疑義等は、原則、団体の指導者を中心に研究するものだが、不明な場合は団体代表者より質問を書面で受け付けて、回答する。
- (11) 公益目的事業を達成するため、定時社員総会のほか、業務執行理事会および理事会、各委員会・

各部局等の会議を対面式及び Web 方式で開催し、事業の運営に関する活発な情報及び意見交換を行う。

(12) 吟道会館の運営

公益目的事業を達成するための拠点とし、また、吟詠関連の各種資料及び関係書類の整理・保管・管理を行う。

「吟道会館」の維持・管理のため、団体及び会員並びに一般より寄付を受け付ける。

(13) 木村岳風記念館（吟道研修センター）・祖宗範木村岳風墓所の維持及び管理並びに木村岳風記念館・祖宗範木村岳風生家所蔵資料の整理、保管及び管理を行う。

(14) 法人の運営体制の充実を図るための取組み

①役員を対象としたガバナンス研修会を吟道会館（東京）において開催する。

②内部規範の整備をはかり、法令遵守を徹底化する。

(15) その他

その他、当学院の公益目的事業達成に必要な事業を行う。

Ⅱ 収 益 事 業

収益事業 公益目的事業を支えるための補助事業

収益事業1 吟詠CD・DVD及び詩吟啓発物品の作成頒布事業

- 1 吟詠CDなど、各種教材等を作成し、希望者に頒布する。
- 2 詩吟の副教材として以下の頒布品を希望者に頒布する。
 - (1) 書 籍 『木村岳風』(通称「岳風伝」)、『詩歌作者事典』等。
 - (2) CD・DVD等 「漢詩から学ぼう DVD」、「木村岳風愛吟集 CD」等。
 - (3) そ の 他
- 3 そ の 他
学院証、会員バッジ、吟マーク入り賞状用紙、ネクタイ、扇子等。

収益事業2 詩吟の技量審査による段伝位等の認定及び認定証(許證)を交付する事業

- 1 認定証(許證)発行
認可団体の資格審査申請に基づいて行われた昇級(少年少女)・昇段伝位及び師範位の資格審査の合格者に認定証(許證)を交付する。

Ⅲ その他の事業

その他の事業1 近代吟詠の祖 木村岳風回忌法要及び功労物故者会員の合祀（岳風忌）事業

1 岳風忌

令和8年7月1日（水）長野県諏訪市地藏寺において祖宗範木村岳風ご夫妻の法要を行い、併せて功労物故者会員の合祀を、総本部役員、合祀者関係者で行う。

その他の事業2 詩吟関係の功労者等の顕彰事業

1 顕彰

以下の顕彰事業を、無償で行う。

(1) 冠稱

永年に亘り学院の発展に寄与し、特に功績の顕著な者に、冠稱（宗宰・宗帥・宗匠・宗佑）を贈る。

(2) 功労者表彰

吟道顕彰者（功労者の部・ボランティアの部・寿百歳の部・寿九十歳の部）の表彰を行う。

(3) 高校生表彰

小学校から高校3年生まで継続して吟詠活動を行っている高校生会員を表彰する。

(4) その他

① 詩歌吟詠の普及向上等に多大に寄与した者に対し、顕彰・慶弔規程の定めるところにより顕彰する。

② 会員増強（純増）前年比10%以上または同15名以上を達成した団体を表彰する。

2 その他

その他、当学院の目的達成に必要な事業を行う。